

IBM Watson Workspace

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. IBM Watson Workspace

IBM Watson Workspace は、Watson のパワーが組み込まれたメッセージング・アプリです。

「クラウド・サービス」は、お客様の組織内のチーム、班、およびワークグループが以下を実行するのを手助けします。

- 組織内および組織間のコラボレーション・ワークスペースで会話およびコンテンツを共有する。
- 複数のデバイス (Web ブラウザー、デスクトップ・アプリ、およびモバイル・アプリ) からアクセスし、同期された状態で利用する。
- すべての会話について検索可能な完全履歴を維持し、共有されたイメージおよびコンテンツのすべてにアクセスする。
- 会話を「モーメント」にまとめて、読むのに必要な時間を短縮し、会話スレッドからノイズを除去する。
- 各ワークスペースにおいて重要なアクションおよび質問を特定してハイライトする。英語でのみ提供されます。
- 第三者アプリケーションを統合して、これらのアプリケーションからの重要な更新をチームと共有したり、第三者アプリケーションで提案されたアクションをワークスペースから直接取り出したりする。

1.1 IBM Watson Workspace Essentials

IBM Watson Workspace Essentials は以下の重要な機能を提供します。

- チーム・ワークスペースおよび 1 対 1 のダイレクト・メッセージング
- ファイルおよびその他のコンテンツを共有する
- すべてのスペースおよび会話にわたって検索する
- オンライン状態にある人物を確認するための在席確認
- 通知
- 会話のトピックを要約するためのコグニティブ「モーメント」
- 重要な会話を優先できるよう、スペースおよび個人に重要の印をつける
- 第三者アプリケーションを統合するためのオープン API
- カタログ経由でのカスタム・アプリの利用および連携
- 以下の「ワークスペース・チーム」のエンタープライズのアドミニストレーションおよび管理の機能
 - アカウントおよびユーザーの管理
 - SAML 経由のエンタープライズ・フェデレーション
 - スペース・メンバーシップの制御 (たとえば、オーナーの変更や追加)
- 「ゲスト・アクセス」のサポート
- オンライン・フォーラムおよびナレッジ・ベース
- デスクトップ、Web ブラウザー、およびモバイル・アプリ (Android and iOS) で利用可能
- アップロードされたファイルおよびイメージのストレージに利用可能な、「許可ユーザー」ごとに 20 GB のアップロード

- 「許可ユーザー」は、ゲスト・ユーザーとのコラボレーションが可能です。ただし、IBMは、必要に応じて認められるゲスト・ユーザーの人数を制限する権利を留保します。

1.2 IBM Watson Workspace Preview

Watson Workspace Previewにより、ユーザーは「クラウド・サービス」に無償でアクセスすることができますが、以下の使用制限が適用されます。

- 「エンタープライズ」のアドミニストレーションおよび管理の機能は含まれない。
- 「ゲスト・ユーザー」のアクセスの制限や管理の機能は含まれない。
- アップロードされたファイルおよびイメージのストレージに利用可能な、「許可ユーザー」ごとに1GBのアップロード
- 「テクニカル・サポート」は Watson Workspace のオンライン・フォーラムおよびナレッジ・ベース経由でのみ利用可能。
- 以下の追加の制限事項の適用。
 - お客様は、IBMが指定したプレビュー期間中、またはIBMが Watson Workspace Preview の営業を中止もしくは終了するまで、Watson Workspace Preview を使用できます。
 - お客様は、IBMに通知することで、Watson Workspace Preview の使用を随時終了できます。お客様が Watson Workspace Preview の満了前または終了前に保持することを望むコンテンツについては、お客様がその削除に関する一切の責任を負うものとします。
 - IBMは随時、Watson Workspace Preview への参加または使用の一時停止、取り消し、制限または拒否を行うことができます。
 - IBMは、合理的な自己裁量で、Watson Workspace Preview に適用可能な条件を変更したり、コンピューティング環境を修正したり、Watson Workspace Preview の機能の一部または全部を中止したりできます。
 - IBMは、Watson Workspace Preview の使用に起因する請求に対して責任を負いません。本契約に基づいて取得した Watson Workspace Preview のお客様による使用に起因するIBMのすべての損害賠償責任は、請求の原因を問わず、お客様に現実に発生した通常かつ直接の損害に対し、1,000米ドル(または現地通貨の相当額)を限度とします。

1.3 IBM Watson Workspace Plus

Watson Workspace Plus は、以下を提供します。

- Watson Workspace Essentials
- Workspace 参加者のための、多人数の参加が可能なビデオ会議および二者間ビデオ通話
- 画面共有
- ホワイト・ボード
- コンピューターに搭載された機器を利用した IP ネットワーク経由の通話
- ミーティングの電話会議に対するコール・イン方式での通話
- Microsoft Windows デスクトップ、Apple Mac デスクトップ、Apple iOS、および Android のみで利用可能
- 本「クラウド・サービス」に対する使用許諾は、以下の3つのミーティング規模のオプションで取得できます。使用許諾されたオファリングに基づき、各「許可ユーザー」は、1回のミーティングにつき、最大25人、50人、または200人のミーティングを開催できます。
 - IBM Watson Workspace Plus for 25-Person Meetings
 - IBM Watson Workspace Plus for 50-Person Meetings
 - IBM Watson Workspace Plus for 200-Person Meetings

2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

Watson Workspace

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=FD58334063C211E6865BC3F213DB63F7>

Watson Workspace Plus

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=7527E6A0C9F111E7AD0EC24C9513D95F>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合(「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。)には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa>にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) および「DPA 別表」が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。DPA が適用される場合、「復処理者」の変更の通知を提供する IBM の義務およびかかる変更に関する異議を申し立てるお客様の権利は、DPA に規定されるとおりに適用されます。

3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント(以下「SLA」といいます。)を提供します。「SLA」は保証ではありません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。)に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツも

しくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティーに関する事故もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBMは、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の12分の1の10%を超えないものとします。

3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における「月額サブスクリプション料金」*の割合)
99.9% 未満	2%
99% 未満	5%
95% 未満	10%

*「クラウド・サービス」がIBMビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを50%割引した額となります。IBMは、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポートは、オンライン問題報告システムを介して提供されます。IBMのIBM Software as a service support guide (https://www-01.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html)には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

5. エンタイトルメントおよび課金情報

5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「許可ユーザー」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。お客様は、直接または間接のいかなる方法においても(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて)「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた特定の「許可ユーザー」ごとに、個別に専用のエンタイトルメントをいずれかの手段により取得しなければならないものとします。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

5.2 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントを超える場合には、かかる超過が生じた月の翌月に、「取引文書」に記載された料金で超過料金が請求されます。

5.3 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBMは請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

5.4 検証

お客様は、i) IBM およびその独立監査人がお客様の本契約の遵守状況を検証するために合理的に必要となる記録、システム・ツールからの出力を保持し、要求に応じて提供し、ならびに ii) かかる検証の結果必要と判断されたエンタイトルメントを、IBM のその時点で最新の料金ですみやかに注文して支払うほか、その他の料金および債務を、IBM の請求書の記載に従い支払うものとします。これらの遵守状況検証義務は、該当する「クラウド・サービス」の有効期間中、およびその後の2年間有効に存続します。

6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも90日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

7. 追加条件

7.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせ、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

7.2 補償

お客様は、以下に関する請求に起因または関連するあらゆる請求、損害、損失、負債、費用、および経費(合理的な範囲の弁護士費用を含みます。)について IBM を補償、防御し、IBM を免責することに同意します。(a) お客様による「クラウド・サービス」の使用、(b) 本「サービス記述書」の違反、またはお客様による適用法の違反、(c) お客様のコンテンツ、ならびにお客様のコンテンツとその他のアプリケーション、コンテンツまたはプロセスとの組み合わせ(お客様のコンテンツによる、またはお客様のコンテンツの使用、開発、設計、生産、広告またはマーケティングによる、第三者の権利の侵害や濫用の申し立てがあった請求を含みます。)、または (d) IBM およびお客様の間の紛争。

7.3 クラウド・サービスの合法的利用

本「クラウド・サービス」では、お客様のコンテンツに基づいてパーソナライズされた推奨を行うことなど、「クラウド・サービス」の提供目的および強化目的でコンテンツを分析します。これには、お客様のコンテンツに含まれる個人データが含まれます。プライバシー、データ保護または雇用に関連するものを含む、さまざまな法律または規制により、本「クラウド・サービス」に関連する個人データの使用が制限される場合があります。「クラウド・サービス」は、合法的目的かつ合法的方法による場合にのみ利用可能です。お客様は、適用される法律、規則、およびポリシーに従って「クラウド・サービス」を利用することに同意し、それらを遵守する一切の責任を負うものとします。また、必要な同意、許可、またはライセンスは取得し、あるいはすでに取得しているものとします。

お客様が、「第三者」の Web サイト、または「クラウド・サービス」にリンクされた、または「クラウド・サービス」からアクセス可能な他のサービスにコンテンツを伝送する場合、お客様は、すべてのかかるコンテンツの伝送を行うことに対する同意を IBM に提供するものとします。ただし、かかる伝送は、お客様および「第三者」の Web サイトまたはサービスの間でのみ行われ、お客様とかかる「第三者」間

の Web サイトまたはサービスの条件に従うものとします。IBM は、かかる「第三者」の Web サイトまたはサービスを提供せず、それらについていかなる保証も表明もせず、またそれらを物理的にも契約上でも管理しません。これには、セキュリティ保護対策の有無、および適用されるプライバシー規則の遵守が含まれますが、これらに限定されません。IBM は、かかる「第三者」のサイトまたはサービスに対するいかなる責任も負いません。

お客様は、「クラウド・サービス」では第三者プロバイダーからのメディアおよび情報（「第三者メディア」）にリンクしたり、それらを表示したりする機能が提供されること、ならびにお客様はかかる「第三者メディア」およびお客様が他者に伝えたかかる情報のいずれかの使用に対して全責任を負うことを理解します。

すべての「第三者メディア」は、それぞれの第三者の財産になります。お客様は、「第三者メディア」にリンクしたり、それを表示したりするのに必要なすべての権利を、「第三者メディア」の所有者から入手することに同意し、それを約束します。

お客様が「第三者メディア」にリンクする場合、お客様はかかる「第三者メディア」に適用されるすべての利用条件、ポリシーおよび法律、規則および規制を遵守し、またお客様の使用がそれらに準拠していることを表明し、保証します。

お客様は、以下を行う目的で「クラウド・サービス」を利用できません。大量の URL からのクローリング、インデックス作成、メタデータの収集を行うために当該 URL を掲示する。いずれかの当事者の特許、商標、営業秘密、著作権、その他の占有権を侵害するコンテンツにリンクする。未承諾または不正な広告、販売促進用資料、「ジャンク・メール」、「スパム」、「チェーン・レター」、「ピラミッド・スキーム」、その他の形式の勧誘にリンクする。

IBM Watson Workspace API に関する条件

これらの条件は、「クラウド・サービス」内でアプリケーションを作成することを目的とした、お客様による Watson Workspace API の使用に適用されます。お客様は、「クラウド・サービス」内で提供されたカタログ (以下「カタログ」といいます。) にアプリケーションを公開したり、本別紙を条件に、「カタログ」以外の方法を通じて「エンド・ユーザー」に対してアプリケーションへのアクセスを提供したりできます。

1. 定義

アプリケーション項目 – お客様が「カタログ」への公開または「カタログ」以外の URL 経由での共有を望むアプリケーションに関連してお客様が指定する、アプリケーションの説明およびご利用条件をいいます。

エンド・ユーザー – 「クラウド・サービス」へアクセスするユーザーをいいます。

2. お客様の連絡先情報

IBM は、お客様が送信する連絡先情報を検証することができ、お客様が公開するアプリケーションについてお客様とコミュニケーションを取るために、および「クラウド・サービス」に関する情報をお客様に提供するために、お客様が提供する連絡先情報を使用できます。IBM は、お客様が本別紙の条件に違反していると IBM が判断する場合、お客様の「クラウド・サービス」へのアクセスおよび「カタログ」へ公開するための機能を停止する権利を留保します。

3. アプリケーションに関する制限事項

お客様は、「クラウド・サービス」内で Watson Workspace API を使用して作成するアプリケーションに関し、以下の条件を遵守することに同意します。

- お客様または第三者にとって機密の情報を含むアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- お客様は、プライバシーおよびセキュリティに関する法律を含めて (これらに限定されませんが)、すべての適用法を遵守する。
- 公開することについて事前に同意を得ることなく第三者に専有の情報が含まれるアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- アプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりせず、不法な、中傷的な、卑猥な、不正な、またはその他好ましくないアクティビティを含むインターネット・サイトに、お客様のアプリケーションからのリンクを含んだりしない。
- 上記の条件のうち、「セキュリティの内容」(第 2 条) に定義される、センシティブ個人情報を含むアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- 13 歳未満の児童を対象としたアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- ウィルス、ワーム、欠陥、トロイの木馬、破損ファイル、その他の有害なアイテムや虚偽のアイテムを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- いずれかの当事者の特許権、商標権、著作権、トレード・シークレット、またはその他の占有権で保護される、以下のいずれか (写真、イメージまたはグラフィックを含みますがこれらに限定されませんが) を含むアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。ただし、お客様がかかる権利の所有者である場合、またはアプリケーション内でかかるコンテンツを掲示することについて所有者からの許可を得ている場合は除きます。第三者の権利者によって要求される場合は、アプリケーションの当該部分に対する著作権または商標権表示を行う。
- これらの条件または適用される法律や規制に違反するアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- 別の人の名前を使用したり、あるいはお客様やアプリケーションのソースを不実表示したりしない。

- 間違って表示されるアプリケーションを公開したり、かかるアプリケーションが IBM の後援または承認を受けていることを示唆したりしない。
- 「エンド・ユーザー」コンテンツを保管する際、お客様のアプリケーションは強力な暗号化機能を利用しなければならず、またそのコンテンツがキャッシュされる場合には、24 時間ごとにリフレッシュされなければならない。
- お客様のアプリケーションでは、Watson Workspace API へアクセスするために提供された鍵および秘密のみを使用しなければならない。
- お客様は、適用法の要求に従い、「エンド・ユーザー」の要求時には、「クラウド・サービス」の「エンド・ユーザー」から収集されたすべてのコンテンツを削除しなければならない。さらに、お客様は、お客様のアプリケーションが「クラウド・サービス」内の任意のスペースから削除された場合には、「エンド・ユーザー」から収集されたすべてのコンテンツを削除しなければならない。
- 「エンド・ユーザー」から収集されたコンテンツを、何らかの広告形式で使用することを許可するアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。
- 明確な許可なく、「エンド・ユーザー」から収集されたコンテンツを使用して、「クラウド・サービス」以外の「エンド・ユーザー」に連絡を取ることを許可するアプリケーションを公開したり、アプリケーションへのアクセスを提供したりしない。

IBM は、お客様のアプリケーションを確認することができます。また、お客様のアプリケーションを共有したり、「カタログ」上で公開された状態を維持したりできるように修正を加えるよう要求する権利を留保します。

お客様は、アプリケーションを「クラウド・サービス」に追加し URL 経由で共有すること、または、「カタログ」上で公開することにより、お客様のアプリケーション・エントリーおよびお客様のアプリケーションの利用条件、「クラウド・サービス」の「サービス記述書」、適用される基本契約 (例: 「クラウド・サービス」契約)、ならびにお客様とアプリケーションの「エンド・ユーザー」間のエンド・ユーザー契約条件に従い、「エンド・ユーザー」にお客様の「アプリケーション項目」およびお客様のアプリケーションへの公開アクセス権を付与することになるということを理解し、了承するものとします。

お客様は IBM に、お客様の「コンテンツ」のマーケティングおよび宣伝に関連して、お客様のアプリケーションに含まれるか、「カタログ」を通じて IBM に提供されるロゴ (以下「お客様のマーク」といいます。) としてお客様の商標を使用、表示、および配布することのできる、非独占的、地域制限なし、使用料無料のライセンスを付与します。お客様は、お客様が「お客様のマーク」の所有者または許諾ライセンサーであること、およびそれらが第三者の知的財産権を侵害していないことを表明します。お客様および IBM の間では、「お客様のマーク」に関連するすべて信用はお客様の利益のために効力を生じます。IBM は、「お客様のマーク」の全体的な外観を変えることなく、必要に応じて「お客様のマーク」の形式またはサイズを変更することができます。

お客様は、特許、著作権、商標のあらゆる権利、および「クラウド・サービス」に関するその他のすべての知的所有権は引き続き IBM およびそのサプライヤーに帰属することに同意します。

4. コグニティブ要求に関する制限

この「クラウド・サービス」は、コンテンツを共有するユーザーおよび統合アプリケーション向けです。このコンテンツを Watson Cloud Platform のコグニティブ機能によって分析し、重要なトピックと「モーメント」の要約に役立てます。IBM は、アプリケーション生成メッセージを処理するための Watson の使用を制限する権利を留保します。

5. アプリケーションの使用に関するエンド・ユーザー契約

お客様および IBM の間では、お客様は、お客様のアプリケーションを「エンド・ユーザー」が利用できるようにすること、およびお客様のアプリケーションについてライセンスを付与するか、その他の方法で権利を付与することについて全責任を負います。「アプリケーション項目」内でのレビューのためにすべての「エンド・ユーザー」がアクセスできる、お客様のアプリケーションの使用に適用されるエンド・ユーザー条件の設定はお客様の責任となります。あるいは、この条件が「アプリケーション項目」の外部の「エンド・ユーザー」に提供される場合、「エンド・ユーザー」による当該アプリケーションの使用に

先んじて、当該アプリケーションの「エンド・ユーザー」条件をレビューする権利を「エンド・ユーザー」に提供するという方法で、この条件が表示されます。かかる契約は直接お客様と「エンド・ユーザー」の間のものであり、IBM に対していかなる義務または責任も発生させるものではありません。

お客様は、お客様と「エンド・ユーザー」間の契約には、少なくとも、本別紙と適用法 (プライバシーおよびセキュリティに関する法律が含まれますが、これらに限定されません。) の条件に準拠する条件を含めるものとし、お客様のアプリケーションを使用するその他の「エンド・ユーザー」にもアプリケーション使用時の上記条件の遵守を要求することに同意します。

6. サポート

お客様は、お客様のアプリケーションに関して「エンド・ユーザー」にサポートを提供することについて責任を負います。

7. IBM Watson Conversation Service Connection

お客様は、IBM Watson Conversation Service インスタンス (以下「Watson Conversation」といいます。) をそれぞれのアプリケーションに接続して、「クラウド・サービス」内のコンテンツを分析できます。お客様が、それぞれのアプリケーションを Watson Conversation に接続して「クラウド・サービス」内でアプリケーションを使用するか、その使用を許可することにより、アプリケーションは、特定のコンテンツを接続された Watson Conversation インスタンスに自動的に送信します。さらに、お客様は、お客様のアプリケーションを Watson Conversation インスタンスに接続するために、お客様が IBM に提供しなければならない資格情報を用いてこの接続が行われることを理解するものとします。お客様は、正しい資格情報を IBM に提供する責任があります。また、そうすることにより、お客様またはその他の人物によるお客様のアプリケーションの使用により、提供された Watson Conversation の資格情報に関連するアカウントに対して、Watson Conversation インスタンスのアカウント所有者により別途合意された Watson Conversation の条件により、料金が発生する可能性があることを理解します。

8. 保証

お客様は、(a) お客様が当該アプリケーション全体を所有 (および当該アプリケーションに関して十分な権利、権限および権益を保有) していること、または当該アプリケーションのうちお客様が所有していない部分に関するライセンスおよび本書で付与されたその他の権利を付与するのに必要なその他の所有者から書面によるリリース、許可およびライセンスをすべて入手済みであること、(b) 当該アプリケーションが第三者の著作権、特許、ならびにその他の知的財産権、プライバシー、およびその他の権利を侵害していないこと、さらにはかかる侵害の請求が主張されていないこと、またお客様に対する、もしくはお客様がかかる権利を入手した相手に該当する法人に対する、かかる請求が保留中ではないこと、(c) 当該アプリケーションにウィルスや有害なコードが含まれていないこと、(d) 当該アプリケーションに、お客様や第三者にとって機密または営業秘密とみなされる情報が含まれていないこと、(e) 当該アプリケーションが公開投稿や合法的な配布に適格ではない場合、または適格ではなくなった場合、お客様は即座に IBM Support に通知することを、表明し、保証します。

9. 補償

お客様は、あらゆる請求や要求 (合理的な弁護士費用を含みます。) について、IBM およびその子会社、関連会社、役員、代理人、コーブランド、その他のパートナー、従業員を補償し、保護します。ここでいう請求や要求には、(i) お客様が「カタログ」に送信または公開する、または「カタログ」以外の「エンド・ユーザー」にアクセスを提供する、アプリケーションに起因して第三者が起こしたものの、(ii) 本別紙のお客様による違反、または (iii) その他の権利のお客様による違反が含まれます。

IBM およびお客様の間では、お客様のアプリケーションに対して全責任を持つのはお客様であって、IBM ではありません。お客様は、お客様のアプリケーションやお客様の「コンテンツ」の使用に起因するあらゆる請求については、IBM ではなく、お客様が責任を負うことを了承します。これには、以下について申し立てのあった違反が含まれますが、これらに限定されません。(a) 当事者の法的権利または知的財産権、もしくは (b) いずれかの国の制定法、規制または法律。

10. 責任の制限

IBM は、「クラウド・サービス」内での使用のために「エンド・ユーザー」に公開された、または「エンド・ユーザー」に提供されたアプリケーションに対して責任を負いません。お客様は、お客様が作成するアプリケーションに対して引き続き全責任を負います。

IBM は、アプリケーションについて、いかなる直接損害、間接損害、特別損害、その他の結果的損害にも、たとえかかる損害の可能性が知らされていた場合であっても、責任を負いません。これには、逸失利益、節約すべかりし費用、ビジネスの中断、プログラムおよびデータの損失、付随的損害、特別損害、その他の経済的・結果的損害が含まれますが、これらに限定されません。

IBM は明示的にも黙示的にも一切の保証を行いません。これには、「クラウド・サービス」上で公開されたアプリケーション、または「クラウド・サービス」内での使用のために「エンド・ユーザー」に提供されたアプリケーションに関する、非侵害の保証、および商品性、特定目的適合性に関する黙示の保証が含まれますが、これらに限定されません。IBM には、アプリケーションの技術サポートを提供する義務はありません。

11. 事業活動の自由

お客様は、IBM にはいかなる形あれ、お客様のアプリケーション(またはその一部)を使用、投稿、投稿状態を維持する義務がないことを了解し、それに同意します。IBM は自らの判断で、理由に関係なく、通知することなく、「カタログ」を中止したり、アクセスを制限、中止したり、「カタログ」から、または「クラウド・サービス」内で、アプリケーションを削除できます。お客様は、IBM がアプリケーションの投稿または使用に関してお客様を補償しないことを理解します。IBM は、「カタログ」および「クラウド・サービス」内で使用されるアプリケーションを監視する権利を留保しますが、その義務はありません。IBM は、自らの裁量で、アプリケーションを拒否したり、以前に公開されたアプリケーションを削除したりする権利も保持しています。